



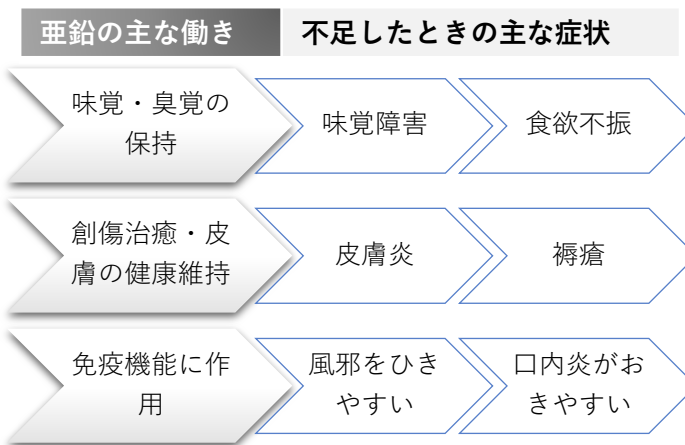
### その症状の原因「亜鉛不足」かも！

#### 亜鉛とは



- ✓ 体内で300種類以上の酵素活性とをもち、遺伝子発現にも欠かせない**必須微量元素**です
- ✓ 身体の中で作れないため、食事から摂取する必要があります。
- ✓ 全身に存在しており、様々な臓器や器官に影響を及ぼしています。
- ✓ DNAの合成、細胞代謝、細胞分裂・再生など**生命活動の根幹**に関わっています。
- ✓ 感染諸領域では免疫関係に大きく関与していることがわかってきました。

#### 亜鉛が欠乏すると



#### 亜鉛とコロナウイルス



- ✓ 亜鉛はRNAウイルスに対して複製酵素(RNA依存性RNAポリメラーゼ)を阻害することでウイルスの複製を阻害することがわかっており、RNAウイルスであるコロナウイルスの複製ももちろん阻害します
- ✓ 亜鉛不足は、予後が悪くなり、重症化するという報告があることから、亜鉛を補う治療としてビタミンCやビタミンDとの併用投与の試みがおこなわれています

#### 亜鉛と免疫力



- ✓ 亜鉛が不足すると免疫機能（特に細胞性免疫）が低下します
- ✓ ウイルスなどによる感染症にかかりやすくなる
- ✓ 免疫の過剰反応（アレルギー）の抑制にも効果があります

#### 亜鉛と透析



- ✓ 腎機能障害（透析患者など）があると尿から排出されたり、蛋白制限食などで栄養がとれないなどの理由で慢性的な亜鉛不足です
- ✓ 透析歴が長いほど亜鉛は不足しています
- ✓ 亜鉛が不足すると、腎性貧血の治療にも影響を与えます
- ✓ 透析患者さんは、**定期的に亜鉛を測定**しておく必要があります



- ✓ 自己判断でサプリメントなどで亜鉛を摂取するのは危険です
- ✓ 過剰摂取は逆に免疫応答を抑え、**免疫力の低下につながります**
- ✓ 亜鉛と銅は1対1での濃度が最適なので、亜鉛を過剰摂取してしまうと逆に健康被害を起こしてしまいます
- ✓ 食事の影響を受けるので、検査は空腹時に行いましょう
- ✓ 日内変動（早朝高く、夕方低い）を考慮し採血時間は一日のうちにの決まった時間が望ましいです



血液検査で亜鉛不足を調べてみましょう

検査要項

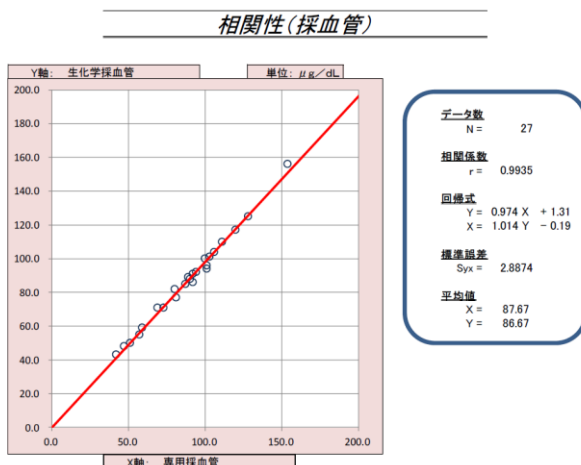
項目コード	項目名	方法	基準値（単位）	報告日数	採取容器	実施料判断料
1762	亜鉛 (Zn)	比色法	80～130 (μg/L)	1～2日 (緊急報告可)	生化学採血管	140点生I

適応疾患：亜鉛欠乏症、低アルブミン血症、長期の高カロリー輸液投与、腸性肢端皮膚炎、溶血性貧血、亜鉛欠乏症味覚障害  
 ＊慢性維持透析患者外来医学管理料には含まれませんが算定する場合には、その必要性を診療報酬明細書の摘要欄に記載が必要です

容器変更のお知らせ

- ✓ 従来、亜鉛の検査は専用容器（酸性洗浄済み容器）にて受託しておりましたが、試薬が変更になるのを機に、生化学採血管と専用容器での亜鉛のデータを比較検討したところ、相違が見られなかったため、生化学採血管での受託を可能と致しました。
- ✓ 今後は、採血の負担が軽減されますので、気になる症状がございましたら検査してみたいかがでしょうか？

専用容器と汎用容器（生化学採血管）との比較



新試薬「セロテック Zn」と旧試薬「エспа・Zn」との比較 ＊  
 採血容器は専用容器での検討

